

SR11000/J1 におけるインタラクティブ（試用）サービス開始のお知らせ

システム運用係

ベクトル並列型スーパーコンピュータ SR11000/J1 において、2005 年 8 月 1 日（月）よりインタラクティブ（試用）サービスを開始します。詳細については以下の内容を御覧ください。

1. SR11000/J1 インタラクティブシステムへの接続先並びに、接続方法

SR11000/J1 インタラクティブシステム（以下 sr11000-s）の利用については、コースを問わず全利用者が利用可能です。

sr11000-s への接続は以下のように ssh を利用して接続します（ssh（または slogin）コマンドは使用しているパソコンやワークステーションにインストールされている必要があります。コマンドが使用できない場合にはワークステーションの管理者にお問い合わせ下さい）。ホスト名は sr11000-s.cc.u-tokyo.ac.jp です。

```
myhost% ssh -l ログイン名 sr11000-s.cc.u-tokyo.ac.jp
```

ログイン名は mpp-s と同じものを使用しますが、パスワードは最初に設定する必要があります。パスワードは次の手順で設定して下さい。

1. 1 初期パスワードの設定方法

sr11000-s の初期パスワード設定は mpp-s にログインして行います。

パスワード設定の詳細については、本センター Web ページ（<http://www.cc.u-tokyo.ac.jp>）または show-info コマンドを参照して下さい。

2. 利用環境

sr11000-s では、プログラムの作成・編集・コンパイル、デバッグ用に短時間のスカラー（非要素並列）ジョブもバックグラウンドで実行が可能となっています。また、batch へのジョブ投入も可能です（sr11000-s から mpp-bt へのジョブ投入は行えません。mpp-s から batch・mpp-bt へのジョブ投入は今までどおり行えますので、こちらを御利用下さい）。

sr11000-s の環境は以下のとおりです。制限値を変更する場合は limit コマンドを使用しますが、最大値を超える値は設定できません。

SR11000/J1 インタラクティブ制限値

	初期値	最大値
仮想メモリー	512 MB	1 GB
C-TIME	1 時間	2 時間
E-TIME	18 時間	18 時間

E-TIME については、2 時間無入力の際には接続が切断されます。

¹ 本稿の内容については原稿作成時におけるもので、実際の環境と異なる場合があります。最新の情報については、本センター Web ページ、及び show-info コマンド等にて広報致しますので、併せて御覧ください。

3. ホームディレクトリー

今回のインタラクティブサービス（試用）開始と共に sr11000-s でのホームディレクトリーは /batch/ログイン名 に変更となります。そのため、mpp-s にログインした場合とホームディレクトリーが異なりますので御注意下さい。また、9 月 30 日のサービス開始後にはバッチシステムについても同様に、ホームディレクトリーが変更となります（ジョブスクリプト等のディレクトリー記述部分については、絶対パスで記述するなどの注意をお願いします）。

2005 年 8 月 1 日（SR11000/J1 インタラクティブサービス開始時）のホームディレクトリー

	インタラクティブシステム		バッチシステム	
	sr11000-s	mpp-s	batch	mpp-bt
ホームディレクトリー	<u>/batch/ログイン名</u>	/home/ログイン名	/home/ログイン名	/home/ログイン名

2005 年 9 月 30 日のサービス開始後より、batch システムのホームディレクトリーも変更になります。

	インタラクティブシステム		バッチシステム	
	sr11000-s	mpp-s	batch	mpp-bt
ホームディレクトリー	/batch/ログイン名	/home/ログイン名	<u>/batch/ログイン名</u>	/home/ログイン名

注意

- ・パスワードは 5 回間違えるとアカウントにロックがかかりますので御注意下さい。
- ・アカウントロックの解除、若しくは、パスワードの再発行については、共同利用係（03-5841-2717）まで御連絡いただくか、身分証明書を持参の上、本センター受付までお越し下さい。
- ・sr11000-s では並列ジョブ（mpirun、prun、g03 等）や長時間にわたるジョブは実行できません。これらのジョブを実行する場合は batch システムを御利用下さい。
- ・バッチジョブのイニシエーター・ターミネーターメールについては、宛て先を特に指定しない場合はジョブを投入したシステムに送ります。mpp-bt、batch 内でさらにジョブを投入した場合のメールについてはそれぞれ mpp-s、sr11000-s にメールを送ります。
- ・インタラクティブ（試用）サービス開始に合わせて、sr11000-s にフリーソフトウェアをインストールしました。利用については本誌別記事「SR11000/J1 フリーソフトウェアについて」を参照して下さい。